



インスピレーションになろう

Rotary International District 2800

山形西ロータリークラブ会報

会長：小林 恵一 幹事：菅原 茂秋

地区目標 「ロータリーの原点に戻ろう」 BACK TO BASICS

クラブテーマ 「あなた自身のロータリーを生きる」 ところに奉仕と友情の灯をともしよう

◆点鐘：佐藤 章夫 副会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
◆司会：高嶋 俊幸 副 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



Yamagata West Rotary

第2848回例会

令和元年6月3日(月)

会長挨拶

佐藤 章夫 副会長



皆さん「草木塔」という言葉を聞いたことがございますか？「草木くさきの塔」と書きます。山形の田舎道には草木塔がひっそりと佇んでいるのをよく見かけます。私の趣味である謡曲の中に「山川草木悉皆成仏」という詞章がよく出てくるので、この言葉には前から関心がありました。

数年前、山形県から福島県喜多方市へ抜ける国道121号を走っていたとき、県境に高さ3メートルにも及ぶ大きな石碑があるのを見つけ、クルマを停めて立ち寄りましたら「草木塔」と大書された文字が刻まれていました。裏面の解説を読むと草木塔は全国的に見られるが東北地方に多く、中でもその数がいちばん多いのは山形県、ここにここ置賜地方、と書いてありました。

俳句の会で「万緑や熊も生きとし生くる物」と詠んだ人がいました。人を殺傷したために猟師に撃たれて万緑の山中に横たわる熊の写真を見て「熊も生きとし生くる物」なのに、と同情している句です。

動物だけでなく自ら動かない草木をも、この世の生き物として同等の存在と見るだけでなく、さらに大きな視野で山・川すなわち自然が丸ごと生きている、というとらえかたをするのです。そして「生き物であるからには魂があるはずだ、喜怒哀楽の情もあるはずだ、生が死で終わる時にはあの世ではみんな仏になるのだよ」、これが「山川草木悉皆成仏」の意味するところでございます。

自然界の中で人間だけが突出した存在であり、他の動植物は人間に利用されるだけという人間至上の視線がここにはありません。人間も自然界の中の生物のひとつに過ぎないので、これは日本民族の特異な自然観なのだと思います。

日本民族がこういう精神風土を醸成してきた理由として挙げなければならないのは、日本の国土が植生豊かで年々旺盛に草が生え木々が成長することです。植生が豊かであればそこに住む動物の種類も多く数も多い。人間はそれらの動植物を食料として生きてきました。栽培される作物あるいは外国からの大量の輸入食料が潤沢に出まわる現代でも、人々は山野に入って山菜を採るのは自然の恵みを忘れられないからでしょう。

日本人は自然に依拠して命を養い文明を築いてきた。それがため自然を敬い愛しその怒りを畏れる。これが草木塔を生ん

だのではないのでしょうか。ただし、なぜ山形県置賜地域に多いのかについてはよくわかりません。

地元の第十中学校の植え込みの中にひっそりと草木塔が立ってあるのを見ましたので校長にそのわけを尋ねましたら、校長はじめ先生方はこの塔の存在を忘れていたようでした。何代か前の校長が建てていったそうです。せっかくだからこの草木塔を教材にして自然を畏敬する心を生徒たちにしっかり教えてもらいたい、と思いました。

幹事報告

菅原 茂秋 幹事

- 米山功労者、第9回のマルチプル、武田元裕さん。第2回のマルチプル、高橋勝治さんです。
- 今月のロータリーレートは、110円でございます。
- 鶴岡ロータリークラブ60周年参加の礼状が来ております。
- 20周年の記念式典のご案内ということで、イブニングロータリークラブの松岡会長、須藤実行委員長の2名に来ていただいておりますので、幹事報告の後にご案内いただきます。
- 例会終了後に理事会を開催させていただきますので、役員の方の皆さまお集まりいただければと思います。また、一緒に次年度の理事会も開催をさせていただきますので、次年度の役員候補者の方、ご参加何卒よろしくお願い申し上げます。

山形イブニングロータリークラブ

松岡 友路 会長

こんにちは。現在会長を務めております松岡と申します。貴重な時間をいただきまして、本当にありがとうございます。本日は当クラブ創立20周年の記念式典のPRということで、実行委員長であります須藤実行委員長とお伺いさせていただきました。次年度の最初の周年事業ということで、開催まであと3カ月となりましたので、本日より第5ブロックを中心にPRをさせていただきます。

私ども山形イブニングロータリークラブは、山形南ロータリークラブをスポンサークラブに2000年6月30日に国際ロータリーより承認をいただいたクラブでございます。クラブの特徴としては、山形唯一の夜の例会ということで、夜を中心に活動しているクラブでございます。

現在、会員数が28名、平均年齢が47歳ということで、だいぶ若いクラブでございますが、今回20周年ということで、人間

ていえば成人式に当たりますので、たくさんの方においでいただきたいと考えております。

式典の開催は9月7日土曜日に、私どもの例会場でありますパレスグランデールさんにて開催する予定でございます。開催概要については、須藤実行委員長より報告申し上げます。須藤さん、お願いします。

須藤 吉実 実行委員長

9月7日、パレスグランデールにて創立20周年の記念講演、記念式典、祝賀会等を計画しております。講演には、直木賞作家の高橋義夫先生。先生は最上義光の本を執筆になりまして直木賞を取ってるんですけども、昔の山形の飲み屋街なんかも詳しく『やまがたキャバレー時代』という本を出してるんです。

当初、最上義光の話していただくかなと思いましたが、実はうちのクラブで30分間の卓話です。最上義光の話15分とキャバレーの話をしていただいたんですが、大変盛り上がりまして、キャバレー「ソシュウ」は、東北でも仙台に負けないような素晴らしいキャバレーがあったわけですので、その話をさせていただく話になりまして、皆さまには先生執筆の『キャバレー時代』という本も、お土産として準備しております。

10周年の時に世話になった名簿から拾うと、10名ほどの登録をいただいております。こんど20周年ということですので、10名以上の登録をなんとかよろしくお願ひしたいと思ひまして、今日お邪魔しました。

それで、ロゴの「山形サイコウ」という、「最高」にいい、もう1回考え直すの「再考」、そんな意味合いを設けて「山形サイコウ」というテーマの予定で、多数のご参加、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

委員会報告

親睦・家族委員会

武田 岳彦 委員長

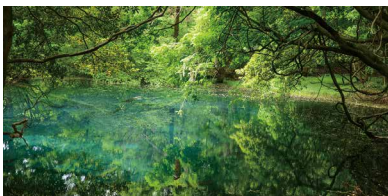
6月の記念日の皆さまをご紹介申し上げます。

会員の方が6名、奥さまが8名、お誕生日でございます。誠にありがとうございます。

伊庭 公也 委員

6月24日最終例会をパレスグランデールさんで開催いたします。アトラクションは、ポリネシアンダンスということでご準備しておりますので、皆さん楽しんでいただけるかと思います。小林年度の最終ということになりますので、皆さんぜひご参加いただいて、盛り上げていただければと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

写楽クラブ



6月1日(土)
遊佐町へ撮影旅行

ゲスト卓話

「女性活躍についての取り組み」

株式会社ジョインセレモニー
パレスグランデール 常務取締役

武田 靖子 氏



皆さま、こんにちは。日ごろ、会社やプライベートでご利用いただきまして誠にありがとうございます。20年前に西ロータリー様とお話をさせていただいたことがございまして、で、そのときは私の母のピンチヒッターで、山形の結婚事情についてお話をさせていただきました。今日は、女性活躍ズバリそのものについてお話させていただければと思っております。弊社の取り組みについてではなく、ちょっと違った角度からお話をさせていただきたいと思っております。

私、山形県の子育て推進部の事業で、ライフデザイン講座というものを山形県内の高校向けに講師を務めております。要はキャリアデザインという授業があるんですけども、そうではなくて、働いた先の自分の生き方を見通してみようという内容の講座です。生き方講座になっております。人生設計、仕事以外にもどんな家族で、夢や希望、どういふふうになんか幸せになりたいか、いろんな情報を通して、人生をもっとよりよいものにしていただきたいという願ひを込めまして、お話をさせていただいております。要は就職・結婚・出産という節目節目がございまして、それをきちんと自分の人生を決めて選んで築いていくというような意識を持っていただきたいと思っております。特に女性ですね、やはり出産というのは、ある程度、適齢期というものがございまして、徐々に見通しておかないと、是非、右肩上がりに人生幸せに向かっていただきたい、こんなはずじゃなかったのになんかということがないように、そこは自分の意思で築いてもらいたい、と思っております。必ずするかしないか、頑張るか、頑張らないかということで、いろんな節目に人というのは道が分かれていると思うんですけども、できれば自分の納得するような人生のほうにいてもらいたい。今、若い方はどうしても受け身になってしまいがちなので、そこは強い意志で築いてもらいたいという思いも込めて、お話をさせていただいております。

この授業、実は3時間の授業でございまして、受講した学生の皆さん、高校生ですけども、こんなコメントをいただいております。「どういう人と結婚したらいいかわかった」「将来のことをやっぱりしっかり考えていきたい」「今の生活から変えていきたい」「幸せを掴むために頑張りたい」という話です。その授業の中に私はあえて入れている話がありまして、それはアメリカの心理学者のメグ・ジェイという方のこの本の話です。YouTubeで、TEDというスーパープレゼンテーションの番組があるんですけど、そちらで非常に反響があった内容です。これは警告ということで、30代で結婚するから20代は自由でいいんだってという考え方では、時間を浪費してしまいますよ、という話です。計画、多少の焦りがないと。後回しにすると、やはりプレッシャーが大きくなってしまいますよ。後回しにした分、家を建てる、子育て、介護などが短い期間に集中してしまっ、望むようなキャリアが歩めない。あとは不妊の問題、老後の問題で悩んでいる中年の方がいるんだよということ、日本だけじゃない。世界中にいるんだよ、という話です。

それで、2000年以降に生まれた若者のことをミレニウム世代と言うんですけども、これが先送り世代という名前がつけられてしまっております。そうならないようにやはり生きていきたいよねという話です。これを意識させないと、今、目の前に楽しいことがたくさんあって、周りに結婚とかもしない、仕事も忙しくなってしまうと楽しくなってしまっ、ついついプライベートのこと、おろそかにし

がちになってしまいます。そういったところで、きちっと人生自身を考えてもらいたいという話をしております。

もう1つ、ちょっと違う切り口の話ですが、アイデンティティキャピタルが大事だとこの先生はおっしゃっています。それは何かというと個人資産です。時間をかけて身に付けた自分を高める経験やスキル、学位であったり資格であったり、社会活動、人脈、あとは話し方、印象、すべてが自分の個人資産なんだという話です。それは大人としてのパスポートなんだ。こういう考え方はなかなか若い方は教わらないんです。長く社会人として生きていくためには、それを資産として磨いていくとか、意識することがとても大事なんだよ、という話です。私はこの話を娘としたりするんです。親も伝える役割はあるんじゃないかなと思っておりまして、そういう話を人として向かい合ってやるか、やらないかというのは、若者の意識形成に非常に違いがあるんじゃないかなと私自身は思っております。

ではなぜ、女性活躍が必要ですか?ということで、いろんな新聞、報道の記事でもう十分お分かりだとは思いますが、おさらいをさせていただきたいと思います。実は女性は「活躍推進」という言葉に拒否反応があります。なぜかという、もっと働け、もっと産め、もっと育てろ、面倒を見ろということで、もう無理ですとおっしゃる方たちが結構実はいらっしゃいます。とはいえ、やはりこれは推進していかなければいけないというのは国の方針でもあります。急速な人口減少の中で、全員が参加して働ける社会を作っていくと、日本経済が成り立たないという労働人口の減少問題があります。だから、女性にもっと働いてもらわないと、ということですね。人口減少の話はもう皆さんご存知だと思うんですけど、山形県も今後25年間で約29万人減少するということです。4分の1。そして庄内地方の人口が丸々30万人ぐらいたと思うので、その人口がなくなるような形になってきます。ということで、やはり危機的な話の中で女性の労働力が期待されているということです。

もう1つが、やはり子どもを産んでもらわないといけないという話です。今はなかなか、結婚をして子どもを産むのが難しい時代になってしまいました。私が少子化問題を非常に深刻に考えたきっかけが、この「婚活」という言葉が生まれたこの本ですけども、これは10年前に出た本ですが、帯に「若者の4人に1人が結婚できません」と書いてあったんです。なので、大変な時代になるなと思いました。この著者がもう1冊書いた本の「妊活バイブル」という衝撃的なタイトルなんですけれども、ここの表紙に1995年生まれの女性の生涯未婚率は20%、5人に1人、今の24歳です。生涯、子どもを産まない女性の割合はなんと35%ということで、3人に1人が子どもを産まないという推測になってしまっています。

結婚できない理由はいろいろあるんですけども、1番が「適当な相手がない」という答えになります。2番目が「結婚資金」、3番目が「今、必要性を感じない」という話ですが、この結婚資金ということが結構、社会的な問題が背景にございます。だいたい女性が結婚相手に求める年収は、東京の場合、だいたい600万円。そんな人は20人に1人しかいない。だいたい3~4割の方がこの数字を挙げます。なので、この数字を追っていくと、永久婚活になってしまいます。20代の年収は、1997年から比べて非常に低くなってきて、30代も昔は500万~700万円が1番多かったのが、2012年は300~400万円まで減っています。20代、30代の平均年収が10年間で100万~200万円落ちている問題がございます。平均世帯所得も減少して、平成11年は655万円でしたが、平成21年は548万円まで減っております。10年間でなんと100万円減ったという数字になっています。近々の数字を見ましたら平成28年は546万円、昨年度は560万円、なかなか結婚に踏み出すのに元手、十分な生活をしていける自信がなかなかないということです。なので、山形の平均年収は男女合わせて600万円になりますので、共働きが非常に現実的になってくるんじゃないかという話です。こういう話を高校生にしています。

でも、今どきの女子の現状としましては、働きたいという意欲のある女子はたくさんいます。逆に専業主婦を夢見ると結婚が遅くなる、またはできないという人が増える可能性があります。なので、結婚をして子どもが欲しい人は出産してもそのまま働き続ける職場に就活です。企業側としては子育て支援の充実や働き方改革に積極性というのが非常に問われている、見られてきていますよ、ということです。その若者のお母さんたちは、だいたい同じような生活を送っていました。学校卒業したら就職して、結婚したら一旦退職して、子育てしてパートで復帰という流れがほとんどでしたけれども、今はそうでなくて、子育てしながら働き続けるのが大多数になっています。でも、結婚はしないだとか、離婚も増えたりということで、やはり多様な生き方になってきているということです。

男性自身もそうです。家族の形も非常に多様化していて、共働き、片働き、核家族、三世同居、同性婚、事実婚、里親家族、1人親世代、専業主夫も、こども本当に増えてきているんです。家族の形も多様化しているということです。女性活躍の前にやはりそういった人生のプライベートな部分も先行きが非常に不安定なので、なかなか女性は迷っているというような状況です。結婚はゴールではなく、残念ながら日本の離婚率というのが3組に1組というような数字になっております。離婚のボリュームゾーンが、子どもが0歳~3歳児ということです。だから夫婦間の関わりが大事になってくるということです。

ちょっと発展させた話になりますけれども、今後離婚はまだ増えていこうと言われてます。2011年にはシングルマザー、シングルファザーは146万人でしたが、2025年には200万人に増えるだろうと言われてます。それでシングルマザー、シングルファザーは、所得も低いという傾向になっておりまして、特に20代のシングルマザーの8割が、貧困で年収が114万円です。それで生活しているということになります。なので、辞めないで働き続ける、そして、うっかり離職に気を付けてくださいという話をしています。女性が1度仕事を辞めると、正社員で復帰できるのは25%。生涯年収で1億5000万~2億7000万円の損失。そして、年収300万円以上回復できるのは10人に1人ということで、結婚をして子どもを持って働く、働き口は非常に難しいということです。

やはり、結婚をして家庭を維持する、生活していく、生きていくためには、夫婦でやはり仕事と家事と子育てをシェアしていく考え方が必要になっていきます。ただ、父親の悩みとして、なかなか育休取得率が少ないんです。山形でも先進的な考え方で、7割近く育休休暇を取られている企業さんも出てきております。ここにこだわら企業さんと全然関心がない企業さんと二極化していると思われれます。国としては2020年まで、目標としている数字は13%となっております。考え方としていろんな話題が出ています。休みではなくて、2人で維持していくために必要な期間だということで、名前を変えようという動きもございます。先週あたり、育休取得1カ月義務化を図る議員連盟も立ち上がっております。今熱い話題になっています。

日本はまだまだ子育て後進国です。よくフランスと比べて言われる、フランスの出生率2.0を超えてますけれども、出産費用全額無料で、男性育休取得率は70%です。国の姿勢が全然違います。「もし子どもを持つことで失われるものがあたら、それは全て政府が補填します」という強いメッセージをうっているの、やはり産もうかなという気に女性がなるということです。

男性が家事育児をすると社会的には出生率が上がっていく。女性が働けば働くほど出生率が下がるという意見があるんですが、世界的に見たらそうではないということです。就労率が高いほど出生率が上がっているというグラフがございます。女性活躍をする以前にやはり解決しなければいけない課題、取り組みはまだ先にあるということです。男女共同参画の問題、世界の男女平等ランキングは非常に低いです。先進国でも最下位といわれていますが、実は高校までは世界ランク1位です、評価としては。でもその

後、なぜか大学、大学院とか管理職、政治家への登用が非常に遅れているということで、このリーダーシップが発揮される分野で非常に低いということです。なぜそんなふうになってしまうのか、教育ですとか、社会に出てからのその評価というのが低いからなのかなども感じます。イマドキ女子は、大体バリバリ働きたいと考えているのが2割です。絶対に専業主婦という層も2割います。細く長く働く。頑張りすぎると、結婚できなかつたり、先が見えないということで迷っている人たちを、活躍するように応援していかなくちゃいけないと思っています。

新入社員アンケートで、やはり9割が結婚・出産後も働き続けたいという意欲を持って入社してきているようです。あとは、高学歴な大学の女子大生であればあるほど、早く結婚して早く子どもが欲しいという考え方になってきております。自分の人生は全部諦めたくないということで、働くと同時に自分の子どもを持って家庭も築くことに、貪欲に考えている若者が増えているのではないかと感じます。女性活躍のために必要なこと。量的にみんな頑張れより、質的な活躍のために、ぜひ子育て支援などの環境整備ですとか、雇用などの制度の整備、家庭内・職場内の意識改革、研修という、多方面からぜひ支援、応援していただきたいと思っています。

私自身が、非常に頑張んなきゃなと思ったきっかけが、日経ウーマン元編集長の麓幸子(ふもとさちこ)さんがおっしゃった、50代が女性の華ですよ、と。子育ても終わって、気力、体力、経験値、余裕、その全てを兼ね備えているのは50代ですよ、と。日本の若い女性たちは、年を取ったら何か魅力のないおばさんになってしまうと考えている方が多いです。ヨーロッパに行くと、年を取れば取るほど輝いて格好いい女性がすごくたくさんいて、町にも会社の中にもロールモデルがたくさんいます。

いろんなところから頼まれて女性活躍の講座をして欲しいという時に、いろんな角度から話すのですが、視座を高めて物事を正しく見るとか、人間力だとか、社会人規則、プロを目指す、企業人としてどう社会に向き合うか。あまり普段、目の前の仕事だけだと考えるきっかけがないようなことを、もう少しぐぐっと視野を広げて、自分の活躍だとか、働くことを考えてもらいたいという話をしたりします。

今のキーワードは、やはり主体的自律。働き方、生き方。これを女性自身が考えられるようになって、積極的に自分の人生を築いていくようになれば輝いていくのではないかと考えております。山形でも実はその兆しが生まれておりまして、営業部女子課山形支局、全国組織の営業だけの女性のネットワークです。山形キャリアラボ。キャリアを築きたい女性の研究所みたいなところで、ここもすごく一生懸命繋がって勉強している。あとは、山形ワーキングマザーの会、子育てしながら働くことの勉強会を開いたり、ネットワークを築いたりしながらやっています。30代です。そういう人たちをぜひ、企業の中からも自分で切り開いてそういう人と繋がるようになっていただきたいなと思っています。

山形の若い女性の実態、ご存じでしょうか? 若者流出についてのデータも見ていただきたいと思います。山形の女性は非常に県外流出が著しくなってきました。今年の春の高校進学者の進路状況は、大学進学も女性が高い割合です。専門学校なども女性の割合が高い。県内就職は男性が高い。学校に進学した先が、山形になかなか戻ってこないというような形で、魅力的な働き

口だとか、山形のそれこそ生活するだけの魅力をやはり十分伝えていかないと、この状況はなかなか厳しいと思っています。

現状、女性活躍の背景、いろんな考え方がございますけれども、ぜひそれぞれの企業の女性の方をぜひ活かして、輝くように応援していただきたいと思っています。

ニコニコBOX

清野伸昭さん／東日本大震災への鎮魂の祈りと復興への願いを込めて6月1日～2日福島で開催された「東北絆まつり」は2日間で30万8000人で賑わいました。山形からの140名の花笠踊りに沿道から大喝采でした。来年は山形の開催です。ご支援よろしくお願い致します。

鈴木隆一さん／6/1～2日、福島市で開催された東北絆まつりの花笠おどりパレードに、佐藤市長、清野会頭らと共に参加してきました。来年は5月30、31日に山形市で開催されます。30万人の観客が集まる大イベントになるでしょう。

鈴木浩司さん／本日の卓話に武田靖子さんをお迎え致しました。女性活躍について興味深く拝聴させて頂きます。

武田周治さん、武田秀和さん／このたび、6月1日から原田久雄会員は羽陽学園理事長職をつとめられることになりました。健康に留意しご活躍下さい。

坂部 登さん／今朝、四人目の孫が生まれました。四人目も男でした。女の子が欲しいです。ジジにはどうする事もできません。

尾形 亨さん／1964年(今から55年前)東京オリンピックの年に大学に入学した関東一部リーグの面々、M大学、H、C、W、N大学の仲間20名が山形に集まり、第11回目の交流会を盛大に開催いたしました!ついでに山形商業高校を訪れ山形出身の金メダリスト菅原正三氏の金メダルを拝見、オーラを頂いて散会いたしました。

結城和生さん／6月1日(土)鳥海山を仰ぐ遊佐町へ総勢11名で出かけ、青い丸池様、牛渡川、など湧き出る伏流水を観察、自然の力を感じました。他に永泉寺、十六羅漢、旧青山別邸を見学しました。昼は酒田市の料亭香梅咲(かめざき)で、楽しんできました。

戸田佳瑞さん／写楽クラブに参加致しまして丸池様、牛渡川、永泉寺、旧青山邸、十六羅漢岩、海岸湧水の見学。昼食は料亭香梅咲(かめざき)と、ぜひ沢な1日を過ごすことが出来ました。坂部さんのお嬢様のはからいでガイドの佐藤さんに添乗頂き、地元ならではの名所を見る事が出来て大満足でした。写真を持ち寄っての反省会も楽しみにしております。

菅原茂秋さん／おかげさまで、みなさまのご支援をいただき幹事も残すところ1ヵ月を切りました。無事にあと1ヵ月をのりきることを祈念してニコニコさせていただきます。

ニコニコボックス委員会一同／1年間沢山ニコニコして頂きましてありがとうございます。多くの会員の皆さんにニコニコする出来事が沢山あった事、委員会としてうれしく思っているところです。1年間のご協力に感謝を申しあげ御礼いたします。

<本日出席・修正出席>

	会員総数	出席会員数		会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日出席 (5/27)	97名	56名	修正出席 (5/20)	97名	84名	80名	95.24%
メイクアップされた会員	(山形中央) 酒井 啓孝、大西 章泰、原田 久雄 (山形) 大城 誠司、長澤 裕二、西谷 真一、石井 雅浩、橋本 徳光、松原 洋 (山形東) 後藤 光政						